

地域がつくる地域の交通

西宮市のコミュニティ交通支援について

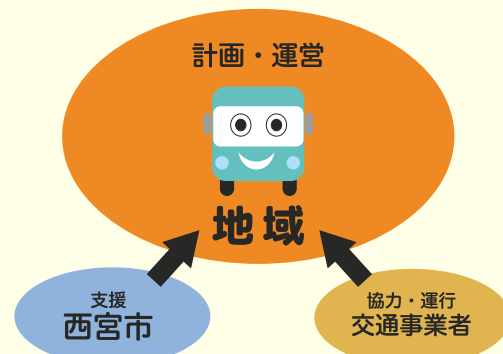
○地域のみなさまにいただくこと

- ・地域の困りごとを話し合う場をつくり、地域コミュニティ交通に対するニーズがあるかを話し合ってください。
- ・コミュニティ交通に関する取組みについて地域で合意形成が図られたら、協議会（地域でコミュニティ交通に関する検討を行う組織）を設立して下さい。
- ・試験運行を実施し、実際にどの程度の利用があるかを確認して下さい。
- ・試験運行の結果から一定の利用があり、実際にニーズがあることが確認されたら、本格的なコミュニティ交通の導入のために、交通事業者を選定して下さい。
- ・交通事業者と協力して、事業計画（運行ダイヤ、ルート、停留所、便数、運賃、利用促進計画など）を作成して下さい。



○市がお手伝いすること

- ・地域での話し合いや協議会での検討をサポートします。
- ・関係諸機関との協議調整をお手伝いします。
- ・試験運行に必要な費用（運行経費と運行収入の差額）について助成金を交付します。
- ・本格的なコミュニティ交通の導入のための停留所設置、車両購入及び運行に必要な費用について、上限額の範囲内で助成金を交付します。



(試験運行)

西宮市コミュニティ交通試験運行等補助金交付要綱

(本格運行)

西宮市コミュニティ交通支援事業助成金交付要綱

○お問合せ先

西宮市役所 交通政策課 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号
電話 0798-35-3527 E-mail kotsu@nishi.or.jp



「コミュニティ交通」導入の流れ

1 活動主体の形成

はじめに地域の困りごとを話し合おう

駅まで遠くて…

買い物が不便で…

病院に行きたいけど坂道がきつくて…

最近知らない顔が多くて…

友だちも来づらくて…

私たちの町の特徴って？

みんなで地域の交通を
考えてみよう

- ・道が狭い
- ・高低差がある
- ・駅、バス停留所まで遠い

地域で話し合い

地域のニーズを確認

どんな方法が？

市は
・専門家を派遣します

2 地域での合意形成

交通に関する協議会を設立

コミュニティ交通の導入を検討

実際に運行してニーズを把握

自治会や関係諸団体と一緒に、コミュニティ交通についての取組みを話し合おう

地域の交通を自分たちで提案しましょう

3 試験運行 (生瀬地区の事例)

ルートは？

費用は？

何人乗り？

潜在利用者数は？

停留所は？

初めに

地域内を巡回するなどし、地域住民に便利さを知ってもらいました

次に

机上の議論では、どれだけの需要があるのか？どこに行く交通にすれば良いのか？いくら運賃にすれば良いのか？など分からないので、実際に有料で試験運行を行いました

最後に

持続できる効率的なルートや便数、運賃を設定し、事業計画を完成させました

市は
・専門家を派遣します
・運行費用を助成します

4 地域にとって望ましい事業計画を決定

5 導入

本格運行

広報PRやアンケートなどでさらに利便性が高いコミュニティ交通に！

地域のみならず利用促進策や目標値、基準値などをつくろう！

市は
・バス停、車両、運行費用を上限額の範囲内で助成します

6 運行結果の検証と見直し

- ・利用促進活動の実績や効果を検証します
- ・利用状況などから必要に応じてルートや便数など事業計画を見直します